

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぎやらりー（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	R7年 2 月 1 日		～ R7年 3 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	R7年 2 月 1日		～ R3年 3 月31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月10 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い年齢層の利用によって、親しみやすい環境の中で、日常生活の自立支援を支援しています。 長時間対応。	職員のスキルアップを大切にし、様々な各種資格を持ったスタッフが活動や支援に尽力しています。	外出支援や社会科見学の幅を広げていく。
2	自発性を伸ばすため活動（運動遊びや感覚遊び）などプログラムを計画している。	楽しみながら成功体験を積み重ねていったり、自信がつくように自分で考えながら行動する力を育む仕組みを取り入れています。	活動の幅を広げる。 季節に合わせて様々なイベント活動に積極的参加する。
3	保護者との心配や不安を共有し、少しでも軽減できるようにサポートしています。	職員間でもコミュニケーションを大事にし、保護者に安心してもらえる施設運営を務めています。 保護者との日常の連携を大切にしています。	送迎の際にも報告や相談、様子をお伝えしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業と連携した取り組みを増やす。	他事業との連携不足・情報の共有	定期的で開催している事業所連絡会に参加 イベント等の開催・参加する。
2	地域交流の機会の提供	子どもの社会経験の幅を広げる支援を行う。 社会的なスキルやコミュニケーション能力を向上させる。 思いやりなどの大切さを学ぶ。	ボランティアや団体、行事に参加し交流を深める。 将来の自立や地域生活を見据えた活動を行っていく。
3			